

男女共同参画の視点からの防災

事例集

【取組の概要】

- ・男女共同参画部局と危機管理部局が連携して「**男女共同参画の視点からの防災手引書**」を作成。
- ・これを活用し、「**地域で活躍する女性防災リーダー育成事業**」を実施。
- ・事業により育成された女性リーダーは身につけた知識を自らの活動で実践。

□ 「地域で活躍する女性防災リーダー育成事業」

県内3箇所（県東部、県西部、県中部）で実施。

講座は2日間の連続講座で、2日間受講した者に修了証を交付。

受講者名簿を市町へ情報提供、静岡県男女共同参画人財データベースに登録。

年	受講者数
H25	184名
H26	134名
H27	122名

□ アンケート調査の実施（9～10ヶ月後）

（主な回答）

- ・知識をつけたことで意見を言うことができるようになった。
- ・自治会の会議で話をするよう呼ばれた。
- ・地域で**男女共同参画をテーマに防災講演会を実施**し、総合防災訓練では男女の役割を逆転させた。
- ・**市と協働でママの防災力をアップさせる事業を実施**した。

【取組の経緯】

男女共同参画部局

危機管理部局

H23年度

男女共同参画推進本部

「施策の展開方針」に、男女共同参画の視点による『防災手引書の作成』を記載。

震災の教訓から、「男女共同参画に関する今後の施策の展開方針」に「男女共同参画の推進による地域防災力の強化」を掲げた。

H24年度

課題

H25年度

ふじのくに男女共同参画
防災ネットワーク会議
(H24.10~)
手引書の検討・作成を実施

女性防災
リーダー
が少ない

地震・津波対策アクション
プログラム2013を策定
(H25.11)

「男女共同参画の視点からの
防災手引書」発行
⇒リーダー研修にも活用

女性防災
リーダー
研修の実施

アクション117
男女共同参画の視点からの防
災対策の推進
(目標：自主防災組織)
女性が役員として参画してい
る組織の率を100%とする
(H34年度末まで)

H28年度

自主防災組織の調査を実施予定
→女性役員数を調査し、研修の実施方法等を検討

【取組のポイント】

地域の防災女子カパワーアップ講座
HUG演習の様子

防災劇とHUGを行い、避難所の困難・課題について男女共同参画の視点で考えるグループワークを実施。

防災食レシピの調理&試食



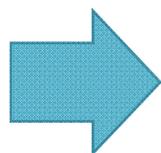
白和え

材料：豆腐 1丁、乾燥ひじき（わかめでも）、柿、めんつゆ大2、塩小1 1/2、砂糖大1 1/2、すりごま大3
作り方：柿があれば、小さく切っておく。豆腐の水を切り、ビニール袋に入れる。柿、ひじき（わかめ）、調味料を入れる。ビニール袋の口を閉じ、よくもんで混ぜる。柿が入った場合は砂糖を減らす。豆腐の水がよく切れていなくても乾燥ひじき（わかめ）が吸収するのでOK。

- ・研修2日目に「身近な防災講座を企画する」講座を設け、参加者たちに研修で学んだ知識を所属する団体などで広めるスキルを身につける。
- ・研修終了後、「発表交流」の機会を設け、3カ所で開催された研修参加者が一堂に会し、研修の「成果発表（研修後の取組等）」を行い、フォローアップを実施。

【取組のポイント】**危機管理部局と男女共同参画部局の連携**

- ・ 危機管理部局と男女共同参画部局の強い連携により、地域防災計画や男女共同参画基本計画などに防災・男女共同参画双方の視点を主流化。
⇒防災施策自体への男女共同参画の視点の導入
⇒男女共同参画施策での防災の取組が加速

**両者の取組が相乗効果に！**

- ・ 女性防災リーダー育成事業の内容は、学識経験者の助言を得ながら、男女共同参画部局（男女センター等含む）と危機管理部が協働で作成。

男女共同参画の視点からの防災手引書

<https://www.pref.shizuoka.jp/kenmin/km-150/bousaitebikisho.html>

静岡県地震対策アクションプログラム

<https://www.pref.shizuoka.jp/bousai/seisaku/ap2013.html>

静岡県暮らし・環境部

県民生活局男女共同参画課

054-221-3363

danjyo@pref.shizuoka.lg.jp